

プログラミング言語論

ガイダンス

水野 嘉明

目次

- 自己紹介
- 講義の概要
- 講義の内容(予定)
- 成績の評価
- テキストについて／参考図書
- その他

2

自己紹介

水野 嘉明 (ミズノヨシアキ)

- 1954年生まれ、名古屋出身
- 大学では数学を学ぶ(計算機構論)
- ソフトウェア技術者としてシステム開発および技術研修業務に従事
- 主な開発システム
プロセス制御、CAD・図形処理、並列処理、
文書管理システム、大規模通信システム 等

3

講義の概要

- 科目名 プログラミング言語論
- 授業日 火曜 2 時限
- 単位数 2 単位
- 関係科目・関連分野
 - Java (または C 言語) によるプログラミングができることを前提とする

4

講義の概要

- コンピュータは、プログラムの記述のとおり動作する
 - プログラムを記述するための言語 = プログラミング言語



5

講義の概要

- プログラミング言語には、多くの種類がある。その背景には、様々な概念 (パラダイム) がある
- ↓
- 背景のパラダイムを理解することにより、言語そのものを深く理解し使いこなすことができる

6

講義の内容（予定）

1. ガイダンス（本日）
2. プログラミング言語の基礎
 - プログラミング言語発展の歴史
 - プログラミング言語の特徴と分類
 - プログラミング言語の構文

7

講義の内容（予定）

3. プログラミング言語の概念と構成
 - 命令型プログラミング言語
 - オブジェクト指向プログラミング言語
 - 関数型プログラミング言語
 - 論理型プログラミング言語
4. プログラミング言語の意味論

8

講義の内容（予定）

- スライドによる講義を中心とする
 - スライド資料は Webで配布する
- 適宜、演習を行う

注：事情により、講義の内容が変わることもある

9

成績の評価

- 成績は、100% 期末試験による



テキストについて

- スライド資料は、次のサイトで配布

<http://www2.toyo.ac.jp/~y-mizuno/>

- スライド以外の参考資料も、適宜掲載する

11

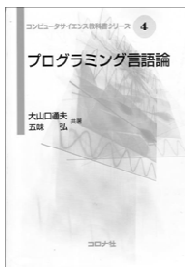
テキストについて

- テキスト(スライド資料)は、印刷して持参すること
 - プロジェクタでは、細かくて見にくいものがある
 - 演習時に参照する
 - ノートにもできる

12

参考図書

- 『プログラミング言語論』



大山口通夫, 五味弘
コロナ社
ISBN 978-4339027044
226P. ¥3,045

13

参考図書

- 『プログラミング言語の概念と構造』



ラビ・セシィ
ピアソン・エデュケーション
ISBN 978-4894717701
526P. ¥5,880

14

その他（講義を聴くときは）

- ノート をとる

- 集中して聞くことになる
 - ⇒ 自宅学習の時間が少なくてすむ
 - 講義中に眠ってしまうことも減る
- 演習時にノートが必要



15

その他

- Javaによるプログラミングができることを、前提としている。
 - Javaの代わりに、C言語 (or C++) や Pascal でも可。
 - Javaも C もできない人は、これから 1か月以内にマスターすること！

その他

- 部屋: 4号館2階 講師控室
(火曜日 一応12:10~14:00頃
だが、ほとんどいない)
- メールアドレス

y-mizuno@toyo.jp

17
